

# 取扱説明書 改訂版①

## インバーター発電機

### DY1500LBI DY3500LBI

燃料 無鉛レギュラーガソリン



エンジンオイルは  
入っていません。

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、  
内容を理解してからお使いください。



DY1500LBI

このQRコードを  
読み取ることで、  
運転操作の仕方などを  
動画でご覧いただけます。



DY3500LBI

# 目次

はじめに	3	点検・整備の仕方	19
安全上のご注意	3	点火プラグの点検・清掃	19
製品を長くご愛顧いただくために	3	エンジンオイルの交換	20
安全にお使いいただくために	4	オイルストレーナの清掃	21
インバーター発電機に係る安全事項	4	燃料の抜き方	22
インバーター発電機の使用に係る安全事項	6	燃料タンクストレーナの清掃	22
主要諸元	7	長期間使用しない時	23
梱包部品一覧	8	困ったときの対処法	24
各部の名称	9	困ったときの対処法（点火プラグの点検）	25
各部の名称（操作パネル）	10	保証内容について	26
①出力準備完了ランプ	11	お客様ご相談窓口	27
②過負荷警告ランプ	11		
③オイル警告ランプ	11		
④直流プロテクター	11		
⑤直流 12V 出力口	11		
⑥アース端子	11		
⑦交流 100V30A コンセント（DY3500LBI）	11		
⑧交流 100V20A コンセント	11		
⑨ 50Hz/60Hz 切替スイッチ	11		
⑩エンジンスイッチ	11		
⑪エコノミー制御スイッチ	11		
⑫交流プロテクター（DY3500LBI）	11		
運転前の点検	12		
燃料の点検・補充	12		
エンジンオイルの点検	13		
運転操作の仕方	14		
エンジンのかけ方	14		
エンジンの止め方	16		
交流電流の取出し方	16		
バッテリーチャージャーの使い方	17		
点検・整備の仕方	18		
運転前の点検	18		
定期点検・運転	18		
エアクリーナーの清掃	18		

# はじめに

このたびはインバーター発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

**安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。**

**誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。  
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。  
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。**

## 安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



**警告**

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



**注意**

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



**禁止**

取扱においてその行為を禁止します。



**指示**

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

## インバーター発電機に係る安全事項



警告



禁止


- 本機は、屋外でコンセントから電源が取れない状況で燃料を使ってエンジンを稼働させ発電する機械です。指定された用途以外には使用しないでください。
- 燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 排ガスがこもる場所では使用しないでください。排気ガス中毒になる危険があります。
- 本機の周囲を囲ったり、箱等をかぶせて使用しないでください。
- 改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中は点検整備を行わないでください。感電の恐れがあります。
- 運転中は移動させないでください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車の車内やトランクに本機を載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 雨や雪がかかる所でエンジンをかけないでください。
- 車載したまま使用しないでください。
- 濡れた手で本機を操作しないでください。感電の恐れがあります。
- コンセントに針金やピンなどの金属を挿込まないでください。感電の恐れがあります。
- エンジン始動前に電気機器を接続しないでください。感電の恐れがあります。
- 電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。本機や本機に接続された電気機器が故障したり、火災や人身事故の原因となります。





指示

- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 始動前点検を実施してください。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。

# 安全にお使いいただくために

 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。</li><li>• 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。</li><li>• 自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。また、ロープ等でしっかり固定してください。</li><li>• 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。</li><li>• 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。</li><li>• 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。</li><li>• ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。</li><li>• 労働安全衛生規則、消防法、電気事業法に従ってください。</li><li>• 発電機のエンジンノイズ（原動機雑音）の影響を受けない距離を確保してください。</li><li>• ご使用時は、本機を建物や他の機器から少なくとも1 m以上離れた所でご使用ください。</li></ul>
--	---



## 注意

 <b>禁止</b>	<p>古い燃料は使用しないでください。</p>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。</li><li>• 定期的エンジンオイルを交換してください。</li><li>• 給油中、燃料タンク内に雪や水、ホコリが入らないように注意してください。</li><li>• 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。</li><li>• シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。</li><li>• 部品交換は、純正部品を使用してください。</li><li>• 定期点検整備を行ってください。</li></ul>



# 安全にお使いいただくために

## インバーター発電機の使用に係る安全事項

### 警告

 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。</li><li>• 運転中に点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。</li><li>• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。</li><li>• 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li><li>• 傾斜地では使用しないでください。</li><li>• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li><li>• エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。</li></ul>
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 水平で安定した場所に設置してください。</li><li>• 運転中は、排気ガスに十分注意してください。</li><li>• エンジンの周りに、草や木クズなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。</li><li>• 使用前に接続部の緩み、ネジの緩みや欠落した部品などが無いこと、亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。</li><li>• 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。</li><li>• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</li><li>• 少しの移動でもエンジンを停止してください。</li><li>• 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。</li></ul>

### 注意

 <b>禁止</b>	エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
 <b>指示</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 使用前に本体や操作パネル等に破損がないか点検してください。</li><li>• 使用前に異音や異臭、異常な振動があった場合には、速やかにエンジンを停止し原因を調べてください。原因が分からない場合は、再始動しないでください。</li><li>• 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。</li><li>• シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。</li><li>• 定期点検整備を行ってください。</li><li>• 本機を長時間保管する時は、取扱説明書に従って保管してください。</li></ul>



# 主要諸元

モデル名		DY1500LBI	DY3500LBI	
タイプ		インバーター発電機		
力率		1.0		
発電機	交流(AC)	定格周波数	50/60Hz	
		最大出力	1.5kVA	3.5kVA
		定格出力	1.2kVA	3.0kVA
		定格電圧	100V	
		定格電流	30A	
	直流(DC)	定格電圧	12V	
		定格電流	4.0A	8.3A
エンジン	モデル	XY147F	XY157F	
	タイプ	空冷 4 ストローク OHC ガソリンエンジン		
	ボア×ストローク	47mm × 41.5mm	57.4mm × 57.8mm	
	排気量	72cm <sup>3</sup>	149.5cm <sup>3</sup>	
	最大出力	2.1KW / 5500rpm	4.0KW / 5500rpm	
	燃料	無鉛レギュラーガソリン		
	燃料タンク容量	3.6L	5.7L	
	定格連続運転	約 4.3 時間	約 3.1 時間	
	エンジンオイル	SAE 10W-30		
	エンジンオイル容量	0.6L	0.9L	
	起動方式	リコイルスターター方式		
	点火システム	T.C.I.		
	点火プラグ	CR7HSA (NGK) or CR5HSB (NGK)		
	騒音	60dB	62dB	
本体寸法 (幅×奥行き×高さ)	250 × 490 × 430mm	320 × 565 × 470mm		
重量	18.5kg	32.0kg		

◎ハイガー産業は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。




# 梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。  
不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



**警告**

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 (DY1500LBI)	B. バッテリーチャージャー	C. プラグレンチ	D. ドライバー
		 ※ドライバーを穴に挿込んで使用	
A. 本体 (DY3500LBI)	B. バッテリーチャージャー	C. プラグレンチ	D. ドライバー
		 ※ドライバーを穴に挿込んで使用	

※製造時期により部品の形状、内容物に変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

※上記写真はプロトタイプのため、製品仕様と異なる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

## ■ご用意いただくもの

### 運転する場合に必要なもの

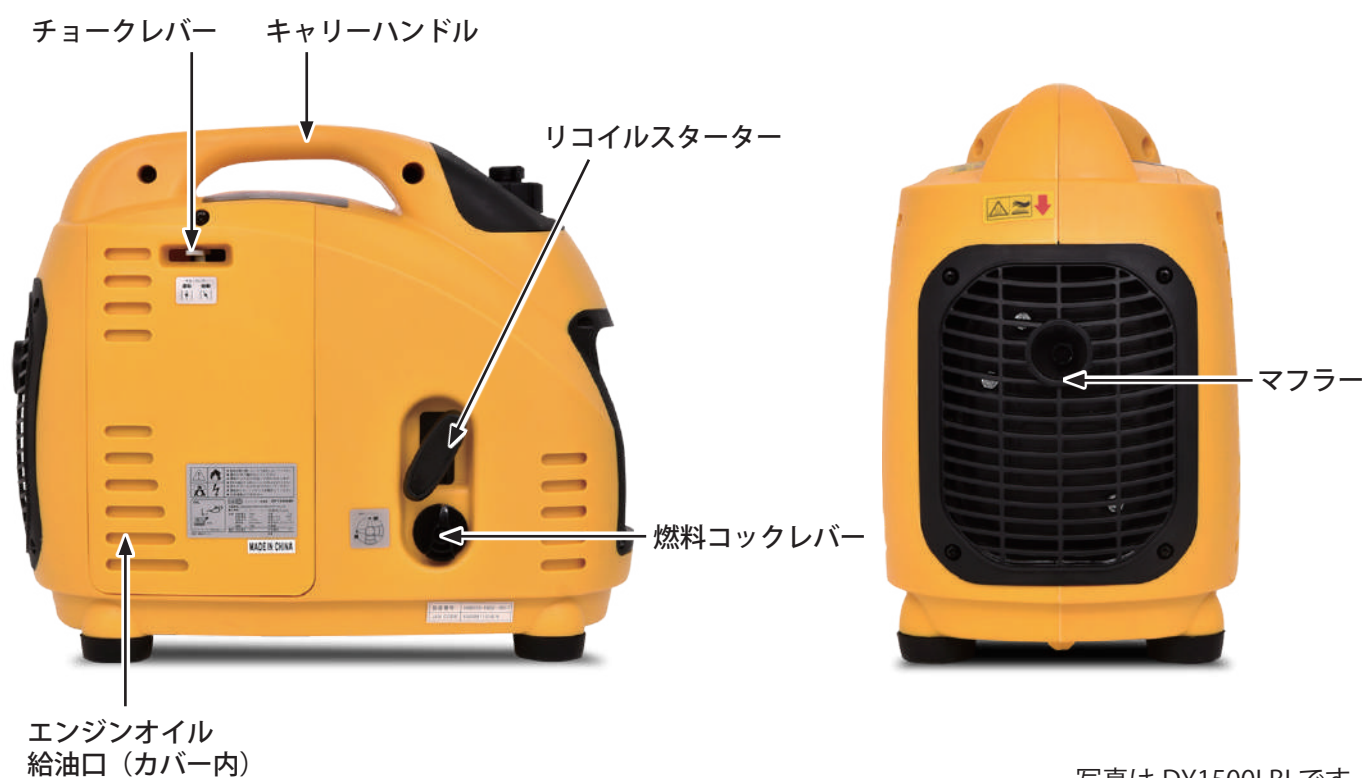
- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・4ストロークエンジンオイル SAE10W-30
- ・漏斗（じょうご）

### 点検・整備に必要なもの

- ・ワイヤブラシ（点火プラグの清掃）
- ・中性洗剤またはパーツクリーナー  
（エアフィルタまたはオイルフィルタの清掃）
- ・17mmのメガネレンチ（オイルフィルタの清掃）
- ・漏斗、廃油受け（エンジンオイルの交換）
- ・ポンプとガソリンを保管する容器（ガソリンを抜く）



# 各部の名称

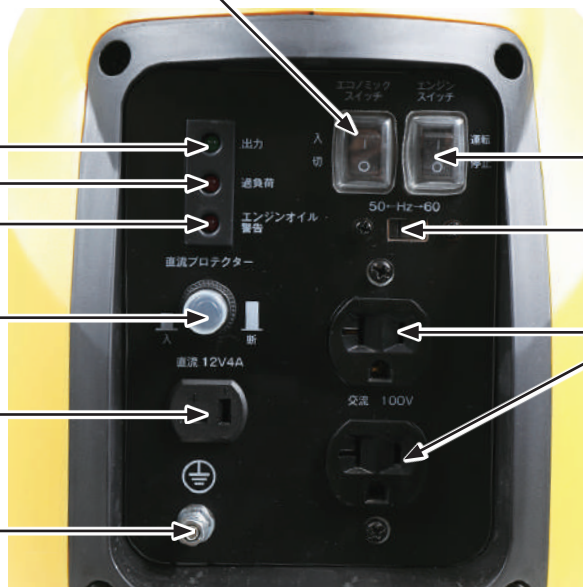


写真は DY1500LBI です。

# 各部の名称 (操作パネル)

⑪エコノミー制御スイッチ (エコノミックスイッチ)

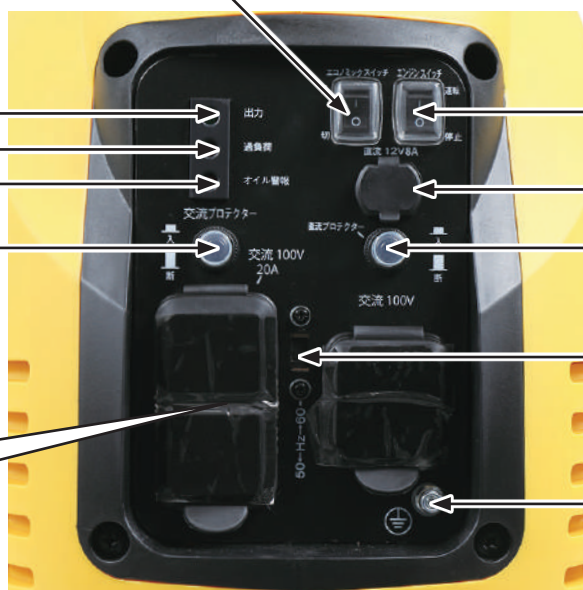
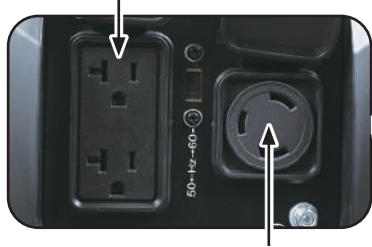
- ①出力準備完了ランプ
- ②過負荷警告ランプ
- ③オイル警告ランプ
- ④直流プロテクター
- ⑤直流 12V 出力口
- ⑥アース端子
- ⑩エンジンスイッチ
- ⑨ 50Hz/60Hz 切替スイッチ
- ⑧交流 100V20A コンセント



DY1500LBI

⑪エコノミー制御スイッチ (エコノミックスイッチ)

- ①出力準備完了ランプ
- ②過負荷警告ランプ
- ③オイル警告ランプ
- ⑫交流プロテクター
- ⑧交流 100V20A コンセント
- ⑦交流 100V30A コンセント
- ⑩エンジンスイッチ
- ⑤直流 12V 出力口
- ④直流プロテクター
- ⑨ 50Hz/60Hz 切替スイッチ
- ⑥アース端子



DY3500LBI

# 各部の名称 (操作パネル)

## ①出力準備完了ランプ

インバータが使用可能であることを示します。

## ②過負荷警告ランプ

インバータに過負荷がかかると警告ランプが点灯します。3段階の保護機能で最終的にエンジンが停止します。

### 段階 1

過負荷状態になると、過負荷のランプが点灯して発電を一時中止します。

### 段階 2

20秒の猶予期間があります。

(この間もエンジンは動いていますので、この猶予時間中に過負荷状態を解消してください。)

### 段階 3

過負荷を解消しない状態が続きますと、段階1～2を3回繰り返した後にエンジンを強制停止いたします。

## ③オイル警告ランプ

エンジンオイルが指定量を下回ると警告ランプが点灯し、エンジンが停止します。オイルを補充しない限りエンジンは始動しません。

## ④直流プロテクター

バッテリーに異常があったり、使用範囲を超えて使用した場合、OFF (ボタンが飛び出す) になり回路を遮断し本機を保護する役目があります。復帰するには原因を取除き、ON (ボタンを押し込む) にします。

※エンジンは止まりません。

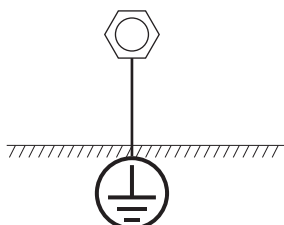
## ⑤直流 12V 出力口

カーバッテリー充電に使用できる直流 12V 出力口です。付属のバッテリーチャージャーのプラグを挿込みます。

## ⑥アース端子

感電防止のアース線を取付ける端子です。電気機器を大地にアースした場合は、本機も必ず接地 (アース) してください。

※アース工事には電気工事士の資格が必要です。



## ⑦交流 100V30A コンセント (DY3500LBI)

交流 (AC) の単相 100 V/30A を取出すことができます。(参考プラグ: パナソニック WF8330、明工社 MH2578)

## ⑧交流 100V20A コンセント

2口の合計で交流 (AC) の単相 100V/20A を取出すことができます。

## ⑨ 50Hz/60Hz 切替スイッチ

周波数の切替え (50Hz ⇄ 60Hz) を行うスイッチです。

## ⑩エンジンスイッチ

スイッチを「I」側に押すと電源 ON になります。

スイッチを「O」側に押すと電源 OFF になります。

## ⑪エコノミー制御スイッチ

コンピュータや電灯などの小さな抵抗負荷に給電する場合は、スイッチを「I」側にすることで自動的にエンジン回転数を最小限に抑え、燃費と騒音を低減します。

電動ポンプなどの大きな抵抗負荷に給電する場合は、「O」側にすることでエンジン回転数を高めます。直流使用時は「O」側にします。

- 「I」側: エンジン回転数が無負荷の状態ですべて約 1/4 に落ちます。長時間使用に適しています。燃費が良い。
- 「O」側: エンジン回転数が無負荷の状態ですべて約 1/2 になります。初期電力の大きい機器に適します。

## ⑫交流プロテクター (DY3500LBI)

⑦と⑧の電流の合計が定格電流を超えると、ボタンが飛び出します。エンジンは運転を続けますが、インバータからの出力はありません。

復帰は、過負荷の原因を取除きボタンを押し込みます。

# 運転前の点検

## 警告



### 禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



### 指示

- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

## 注意



### 指示

- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

## 燃料の点検・補充

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)	
タンク容量	DY1500LBI	3.6L
	DY3500LBI	5.7L

燃料（無鉛ガソリン）の量を点検します。  
出荷時は入っていません。

### 点検手順

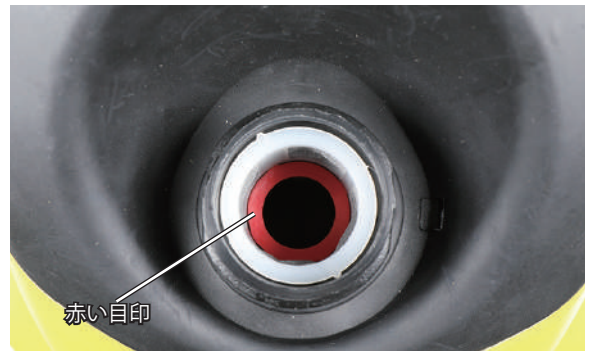
- 1 燃料タンクキャップを取外し、液面を見て残量を確認します。



- 2 少ない時は上限の位置まで補給します。
- 3 点検後、燃料タンクキャップをしっかりと閉めます。

### 給油方法

- 1 無鉛ガソリンを少しずつこぼさないように、上限（赤い目印）の位置まで給油します。



- 2 給油が終わったら、燃料タンクキャップが「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。



# 運転前の点検

## エンジンオイルの点検

エンジンオイルは出荷時には入っていません。

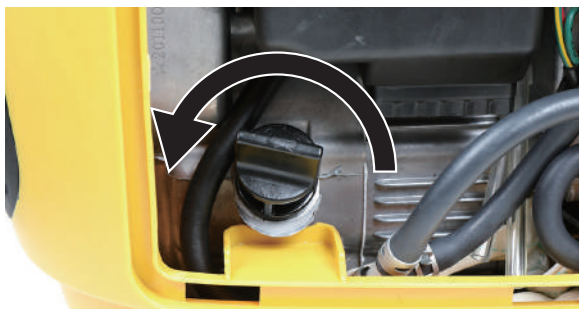
必ず給油してください。また、工場で試運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

### ■点検手順

- 1 本体を水平な場所に移動させ、カバーを留めているネジを付属のドライバーで取外して、カバーを取外します。



- 2 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージに付着したオイルを布などで拭取ります。



- 3 オイル給油キャップを一旦締付け、再度取外します。

- 4 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



適正量はゲージの中央です。

- 5 オイル量が少ない時は、新しいオイルを補給します。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30	
オイル容量	DY1500LBI	0.6L
	DY3500LBI	0.9L

### ⚠注意

- エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- エンジンオイルが少ないとエンジンはかかりません。
- こぼれたエンジンオイルは必ず拭き取ってください。

# 運転操作の仕方

## 警告



禁止

- ・ガソリンを補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・エンジンを始動する前に、電気機器を接続しないでください。



指示

- ・本機はしっかりとした硬い地面で水平な場所に設置してください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

## 注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

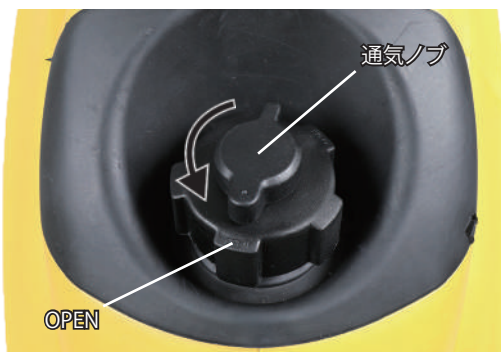
## エンジンのかけ方

出荷時には燃料、エンジンオイルは入っていません。  
給油後に操作をしてください。

## 注意

- ・エンジンをかける前に電気器具をコンセントに接続しないでください。
- ・エコノミー制御スイッチ(エコノミックスイッチ)がOFFであることを確認してください。

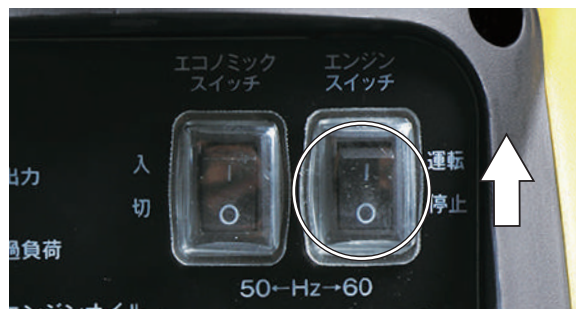
- 1** 燃料タンクキャップの通気ノブを「OPEN」の位置にします。



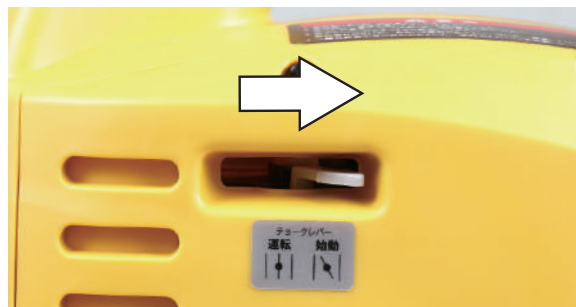
- 2** 燃料コックレバーを「開」にします。



- 3** エンジンスイッチを「I (運転)」にします。



- 4** チョークレバーを「I (始動)」の位置にします。  
エンジンが温まっている時は、このチョークレバーの操作は不要です。



- 5** 本機のキャリーハンドルを握って、倒れないようにしながら、リコイルスターターをゆっくり引きます。  
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。





# 運転操作の仕方

## ⚠️ 注意

- ロープは一杯に引ききらないでください。引きが少ないとエンジンはかかりません。
- 引いたリコイルスターターを途中で放さないで、ゆっくり戻してください。
- 何度もチョークを「|」(始動)のままリコイルスターターロープを引くと、点火プラグを濡らしてしまいます。万が一、濡らしてしまった場合は、P.25 をご覧ください。

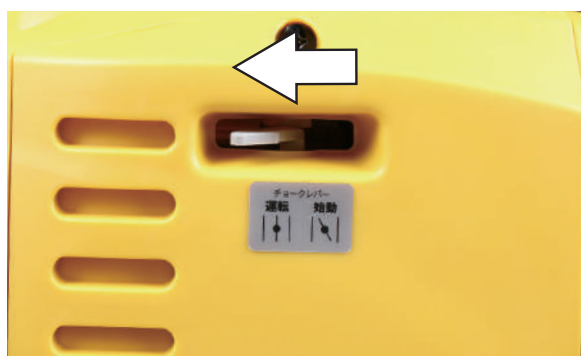
## 💡 リコイルの引き方ポイント



- ① 良い例：約 70cm 引いている所。
- ② 良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③ 悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

## ■ エンジンがかかったら

- 6** エンジンがかかったらすぐにチョークレバーを「|」(運転)の位置に戻します。



- 7** エンジンが始動したら 1～2 分程度暖気運転を行い、運転状況を確認します。

## 💡 エンジンがかからない時

1. 点火プラグキャップを取外します。
2. 点火プラグを取外します。
3. リコイルスターターを数回引いて、シリンダ内を換気します。
4. 点火プラグを取付けます。
5. 点火プラグキャップを取付けます。
6. チョークレバーを右(開)にします。
7. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

## 💡 交流電源の使用範囲の目安

テレビ・ラジオ・電熱器類	DY1500LBI	1.2kVA まで (力率 1)
	DY3500LBI	3.0kVA まで (力率 1)
電動工具類	DY1500LBI	0.96kVA まで (力率 0.8)
	DY3500LBI	2.4kVA まで (力率 0.8)
モータ類※	DY1500LBI	0.48kVA まで (力率 0.4)
	DY3500LBI	1.2kVA まで (力率 0.4)

※起動電流が大きいと使用範囲内であっても使用することができない場合があります。

【注意】使用範囲は目安としてお考えください。上記のように力率は使用する電気機器が同じであっても一定ではありません。また力率は必ずしも上記の範囲内である訳でもありません。使用範囲ギリギリのご使用ではなく電力に余裕を持たせるようにしましょう。

# 運転操作の仕方

## エンジンの止め方

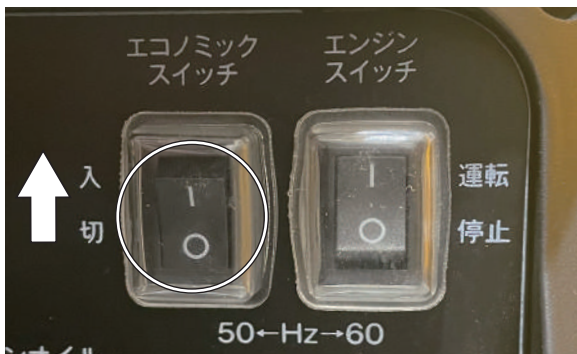
- 1 電気機器の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。
- 2 エンジンスイッチを「O（停止）」にします。
- 3 燃料コックレバーを「閉」にします。
- 4 燃料タンクキャップの通気ノブを「OFF」にします。

## 交流電流の取出し方

### ⚠注意

本機は、接続された電気機器の負荷の変化に合わせて電圧が変化しますので、電圧変化に敏感な電気機器は使用しないでください。

- 1 エンジンを始動します。（14 ページの「エンジンのかけ方」参照）。
- 2 出力準備完了ランプが点灯していることを確認します。
- 3 エコノミー制御スイッチ（エコノミックスイッチ）を「（入）」にします。



- 4 電気機器の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認します。

- 5 電気機器の電源プラグを交流コンセントに挿入します。

交流コンセントには単相 100V で合計消費電流 20A 以下の電気機器の電源プラグを挿入します。



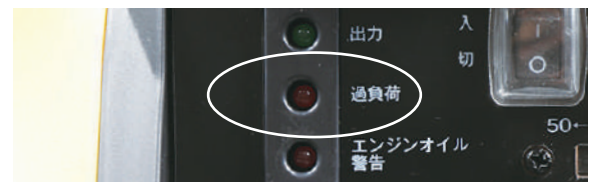
- 6 電気機器のスイッチを入れます。

### ⚠注意

### 👉 過負荷警告ランプ

過負荷警告ランプは、接続された電気器具のオーバーロードを感知した時、インバーター制御装置が過熱した時または交流出力電圧が上がった時には、過負荷警告ランプが点灯し、電気が取らせなくなります。この時、エンジンはかかったままなので、接続中の電気器具を OFF にし、エンジンを停止して、下記の手順で再起動してください。

- (a) 接続される電気機器の合計ワット数を適用範囲内に縮小してください。
- (b) 冷却空気入口や制御装置付近に妨害するものがないか確認し、あれば取除いてください。
- (c) 確認後、エンジンを再始動させてください。



# 運転操作の仕方

## バッテリーチャージャーの使い方

外部のバッテリーを充電することが出来ます。



### ⚠️ 注意

- ゲルパックバッテリー、密閉電池、小型電池での使用はおすすめしません。
- この充電システムは、弱いバッテリーを充電するためのものであり、車両を「ブーストスタート」のためのものではありません。
- 充電中はバッテリーを過充電したり、放置したりしないでください。

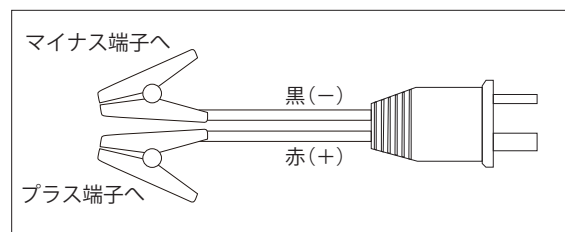
### ■ 充電方法

- 1** エコノミー制御スイッチ(エコノミックスイッチ)を「O (切)」にします。
- 2** バッテリーに接続されているすべてのコードを取外します。(バッテリーの説明書に従って充電してください。)
- 3** ケーブルのもう一方のプラグを、操作パネルの直流 12V 出力口に接続します。



- 4** 赤いクリップをバッテリーのプラス端子に接続します。

- 5** 黒のクリップをバッテリーのマイナス端子に接続します。



### ⚠️ 注意

(+) (-) の極性は間違いなく接続してください。発電機やバッテリーの故障の原因になります。

- 6** エンジンを始動すると、充電が開始されます。
- 7** 充電が完了(\*)したら、エンジンを停止してからバッテリーからバッテリーチャージャーケーブルを黒(-)赤(+)の順で取外し、直流 12V 出力口からプラグを取外します。  
※本機で充電完了の確認は出来ません。  
バッテリー容量はお客様にて、テスター等を使用し確認してください。

# 点検・整備の仕方

## 警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

## 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後又は20時間運転後	3ヶ月毎又は50時間運転毎	6ヶ月毎又は100時間運転毎	1年毎又は300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.12
エンジンオイル	オイル量	●					P.13
	交換		●	●			P.20
エアクリーナー	清掃			●			P.18
	交換					●	P.18
点火プラグ	清掃				●		P.19
	交換					●	P.25

## 運転前の点検

発電機をご使用するたびに点検を行ってください。

## 定期点検・運転

定期的に発電機を運転（約10分位）し、電気器具を接続して運転状態を点検してください。

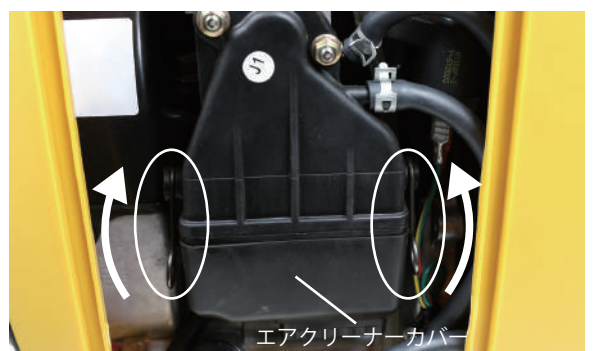
## エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

- 1 本体左側面のカバーの+ネジを付属のドライバーで取外し、カバーを取外します。



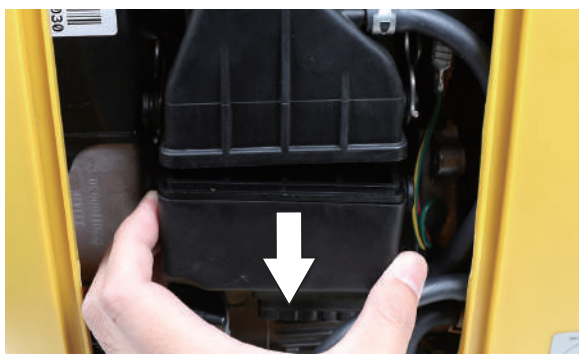
- 2 エアクリーナーカバーを固定している左右の金具を上へ引き上げます。





## 点検・整備の仕方

- 3** エアクリーナーカバーを取外します。



- 4** エアクリーナーカバー内にあるエアフィルタを取り出します。



- 5** エアフィルタの汚れは、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、すすいだ後よく乾燥させます。汚れが取れない場合は、交換となります。

- 6** 取外しと反対の手順で取付けます。

### ⚠ 注意

エアフィルタ類なしでエンジンを絶対に作動しないでください。

## 点火プラグの点検・清掃

点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。

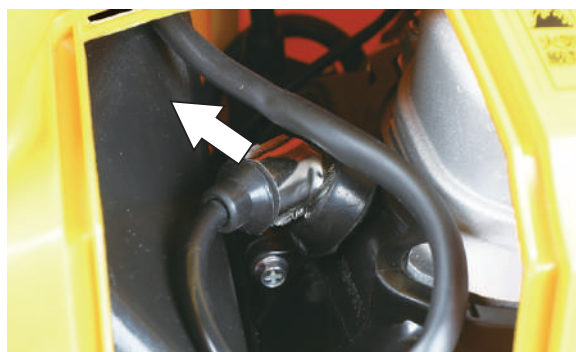
■使用工具: プラグラレンチ (付属)、ドライバー (付属)、ワイヤブラシ

適応点火プラグ | CR7HSA (NGK) or CR5HSB (NGK)

- 1** 本体右側面のカバーの+ネジを付属のドライバーで取外し、カバーを取外します。



- 2** 点火プラグキャップを取外します。

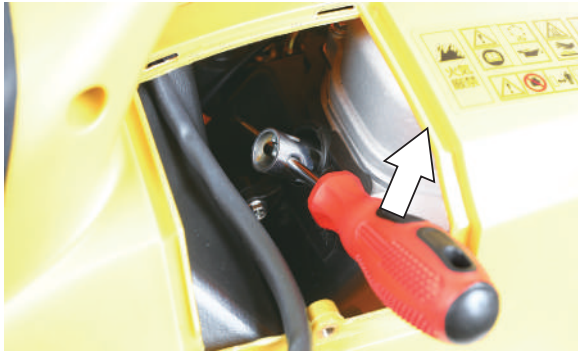


- 3** プラグラレンチの穴がある側を見えるようにプラグ内に挿込みます。



# 点検・整備の仕方

- 4** 付属のドライバーを穴に挿込んで、ドライバーを上側に回して、点火プラグを取外します。



- 5** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



- 6** 取外しと反対の手順で取付けます。  
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめつけてください。はめ込みがあまいと点火しません。

## エンジンオイルの交換

### 【エンジンオイルの交換】

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

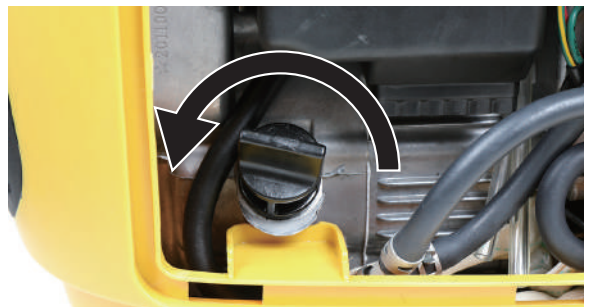
### ■エンジンオイル交換の手順

- 1** 廃油受けを準備します。
- 2** 廃油受けにオイルを排出するために、廃油受けより高い位置で、水平で、安定した場所に発電機を置きます。

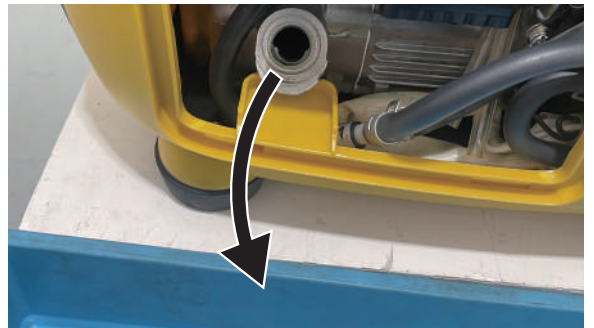
- 3** 本体左側面のカバーの+ネジを付属のドライバーで取外し、カバーを取外します。



- 4** オイル給油キャップを回して、取外します。



- 5** 廃油受けがある方に本体を傾けて、オイルを排出します。



- 6** 漏斗等を使い、新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30	
オイル容量	DY1500LBI	0.6L
	DY3500LBI	0.9L



## 点検・整備の仕方



- 7** 給油後は、確実に給油キャップを閉めます。

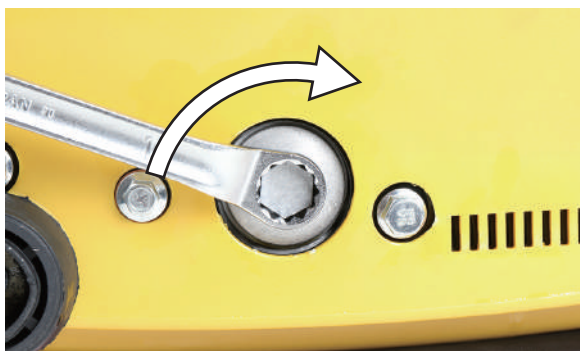
### オイルストレーナの清掃

本体底面にあるエンジンオイルの吐出口にあるオイルストレーナを清掃します。

- 1** 20 ページの「エンジンオイルの交換」を参照して、できるだけエンジンオイルを抜きます。

- 2** 本体を水平な場所でゆっくりと横に倒します。

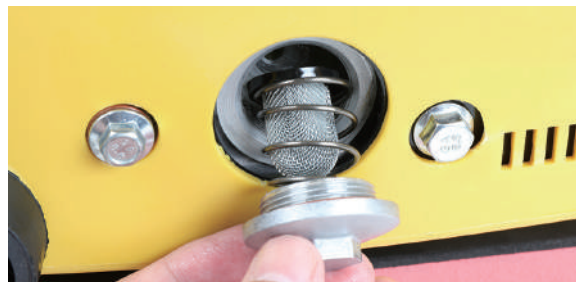
- 3** 本体底面のふたを 17mm のメガネレンチで時計周りに回して、ふたを取外します。



### ⚠ 注意

エンジンオイルが残っている場合は、ボルトを取外すと漏れ出しますので、しっかりと拭き取ってください。

- 4** ふたの中にあるスプリングとストレーナを取り出します。



- 5** フィルタを中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、すすいだ後よく乾燥させます。またはパーツクリーナーで洗浄して、乾いた布等でよく拭いてください。

- 6** フィルタの清掃が終わったら、取外しと反対の手順で取付けます。

# 点検・整備の仕方

## 燃料の抜き方

- 1 燃料タンクのキャップを取外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 2 燃料タンクのキャップを取付け、エンジンをかけ、燃料を使い切ります。エンジンのかけ方については、P.14を参照。

**重要：ガソリンは揮発性の高い危険物です。  
下記要項は必ず守ってください。**

### 警告

- 燃料抜き取りの際、周りに火気がないことを十分確認してください。
- 燃料抜き取りは、屋外で行ってください。
- 抜き取った燃料は、適切に処理してください。
- ガソリンは引火性（着火性）の高い危険物です。火の気がなく、温度変化のない、直射日光を避けた安全な場所で保管してください。また、長期間保管をしないでください。
- 燃料漏れ防止のため給油キャップは最後まで確実に締め付けてください。
- 古いガソリンは使用しないでください。ガソリンの長期保管はできません。
- 長期保管したガソリンはエンジンに悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。
- ガソリンが誤って皮膚に付いた場合は、直ちに石鹸等で十分に洗浄し、異常があれば医師の診察を受けてください。

## 燃料タンクストレーナの清掃

- 1 燃料タンクキャップを回して、取外します。



- 2 中にあるストレーナを取出します。



- 3 ストレーナを中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、すすいだ後よく乾燥させます。またはパーツクリーナーで洗浄して、乾いた布等でよく拭いてください。
- 4 ストレーナの清掃が終わったら、取外しと反対の手順で取付けます。

## 長期間使用しない時

---

発電機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1** 燃料タンクの燃料を抜きます。(P.22 参照)
- 2** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 3** 点火プラグキャップを取外します。
- 4** 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

## 困ったときの対処法

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり（ニードル・バルブ固着）	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
エンジンがかからない	エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く
	エンジンオイルが少ない	給油する
	エンジンオイルにガソリンが混ざっている	オイル交換
	エアクリーナーの汚れ	清掃、交換
オイル警告ランプが点灯	エンジンオイルが入っていない、量が少ない	給油する
マフラーから白い煙が出る	指定以外のエンジンオイルを使用	オイル交換 (SAE10W-30)
	本機を転倒させたことによるオイル上がり	メーカー、購入店に問い合わせ
電気が取らせない	屋内で使用するなどして本機の温度が上昇	屋外で使用
過負荷警告ランプが点灯	大電流が流れる電気機器を使用している	使用電気機器を確認
電気機器の出力が足りない	周波数が違う	正しい周波数に合わせる
	電気機器が本機に適していない	電気機器メーカーに問い合わせ

# 困ったときの対処法（点火プラグの点検）

**点火プラグの点検** ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

**先端が濡れている**

**先端は濡れていない**

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



**火花が出る**

**火花が出ない**

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。



本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社又は弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品又は劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃又は先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。  
又はお近くの修理協力店へご連絡をしてください。  
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。



# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガーまたは販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障品を発送いたします。

### ハイガー

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。  
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

### お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理\*1か、引取り修理\*2か、出張修理\*3かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

\*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。  
\*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。  
\*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

### ■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

### ■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

### ■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

### ■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



.....  
年中無休受付  
.....  
※年末年始等除く

カスタマー・サポート・センター  
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、  
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

## 「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、  
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



〒370-0603  
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



.....  
**年中無休受付**  
.....

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

